

授業科目名	【G】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			必修					
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	コミュニケーション入門				担当者	野呂 一郎		
授業概要	【概要】	コロナ禍で、ますます人間の基礎的能力である、コミュニケーションが問われるようになってきている。この講義では読む、聞く、話す、書く、の基本をしっかりと理解し、修得する。						
	【到達目標】	平易な言葉、表現で自分の意志を相手に明快、簡潔に、説得力を持って伝えることができるようになる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	2年生以降なるべく経営学科目を履修することで、この科目との相乗効果が期待できる。							
教科書	毎回資料を配布する							
参考書	特になし							
評価方法	平常点(例えば課題提出やレポートなど)(90%)、受講意欲・態度(10%)で評価する。							
フィードバック方法	教員が採点・評価をした小テストやレポートを返却する。							
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など、評価不能の場合には「F」とする。							

授業 科目名	【G】 フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必履修				
授業内容	<p>第1回～3回 情報収集の重要性、図書館の利用法 新聞、雑誌、書籍、ネットからいかに情報をとるか</p> <p>第4回～6回 コミュニケーションの基礎理論を学ぶ</p> <p>第7回～9回 アイデア創出法を学ぶ ブレインストーミング等の実践</p> <p>第10回～12回 議論の仕方を学ぶ グループワーク等</p> <p>第13回～14回 個人発表</p> <p>第15回 半期のまとめ</p>					
予習内容	<p>授業で指示のあったテキストの範囲や資料などを熟読する。</p> <p>授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>授業で学んだ内容について振り返り、ノートを整理する。</p> <p>授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
その他	<p>15回の講義、実習で「積極的な態度」をキミの心身に植え付けたい。あと野呂は毎日noteに世界経済の最新情報を紹介、分析する記事を書いています。ぜひ皆さんもhttps://note.com/noroichiro/で毎日見て下さい。必ずこの科目の勉強に役に立ちます。</p> <p>※Gカリ: 必履修(〇お)</p>					